

只今倉橋先生からの御命令によりまして、此處に参りまして、私や膳さんの様な、一番感じの悪いものが度々文部省の方に参りまして、一番印象に残りました事は少し恥しい事と思ひまして、今頃、赤面を致して居ります。

この事に就きましては、私共は雑兵でございまして、元々雑兵云ふものは、先陣の先きに立つて討死するのが役目心得て居ります。立派な倉橋先生の様な旗頭が「進めく」を仰有るので、私共が弾丸に當り乍ら、矢に當り乍ら前に進んで行きました譯であります。幸ひに文部省は敵ではございませぬで、味方でございましたから、何時でも御晝御飯なんかを、餘り長くがん張つて居りました爲に御晝を頂きましたりして、恐縮して居ります。さう云ふ雑兵が皆さんと一緒に御禮申上げる事は、甚だ濟みませぬで、本當は旗頭の倉橋先生に此處に上つて頂いて、其當時に御骨折を頂きました皆様に御禮を云つて頂くのが當然と思ひますが、兎に角何事も旗頭の方の仰有る事を聞くのが本體でございしますから、一寸此處に上りまして一言御禮を申し上げます。大變失禮致しました。

〔司會者〕

これで午前の記念講演會を終わります。實は私本日进行致します爲に、幼稚園令が始めて公布されました其日の官報を今朝から抱へて居るのであります。大正十五年四月二十二日の官報でありまして、其の爲に時には二十二日に公布されました様に御思ひになります。官報が二十二日でありまして、畏れ多い事ではありますが、御名の下に内閣總理大臣が副署致して居ります日附は四月二十一日であります。爾來十年経ちました。これから又十年目十年目、若し出來ます事ならば御一緒に二十週年の祝ひも三十週年の祝ひも、五十週年の祝ひも百年の祝ひも致し度いと思ふのであります。併し十年毎に記念日が来るのではありませんかと思ひます。

之で閉會致します。

(以上速記による。文責在編輯部)